



No.195
 2022年1月
 東大宮・丸ヶ崎
 日本共産党後援会
 発行責任者
 佐藤圭伊子
 【部内資料】

2022年は参議院選挙勝利と100周年



いわぶち友候補(左)と梅村さえこ候補

新年明けまして おめでとございませす

**参院選候補・国会議員より
 新年の決意・ごあいさつ**

**参院選
 埼玉選挙区候補
 梅村さえこ**

2022年、おめでとございませす。日本共産党創立100周年の年を迎えました。「こころざしつたふれしをとめよ 新しき光の中

2022年、おめでとございませす。日本共産党創立100周年の年を迎えました。「こころざしつたふれしをとめよ 新しき光の中

そのチャンスが7月の参議院選挙です。定数4の埼玉選挙区で、改憲勢力に埼玉の議席を与えるわけにはいきません。3年前の伊藤岳さんの議席に連続して勝利しましょう。

**参議院議員
 いわぶち友**

夏の参議院選挙で2期目を

に挑戦します。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で被害にあった方々の声を国会で取り上げ、原発のない社会の実現を求めてきました。

気候危機の打開は待ったなしです。原発と石炭火力はゼロ、省エネに思い切った取り組み、地域と共生する再エネ導入のためのルールづくりを進めるために、引き続きみなさんと力を合わせます。

コロナ禍のもと、地域を支える中小企業、農林漁業が持続可能な社会の実現に力を尽くしてきました。自己責任を押し付けられる政治から、命とくらしを守る政治へ、憲法がくらしに活きる社会の実現へ。

今年で党創立100周年。比例5議席と選挙区の勝利で、新しい政治への一歩を踏み出しましょう。



**参議院議員
 伊藤 岳**

総務省接待問題での国会質問で明け、統計改ざん問題の質問で終わ

る一年でした。もり、かけ、さくら、に続き、この国は不正や改ざんがあとを

絶ちません。

暮れの質問で、「毎月勤労統計、今回の建設工事受注動態統計。国の政策の基となる基幹統計で、なぜ不適切な調査や改ざんが続くのか。統計が実態と合っていないければ、政策も歪むではないか」と問い正しました。明らかにになったことは、統計調査の方法が、都合よく変更されていて、節々の点検の際にもまともな調査がされてこなかった、ということでした。

統計の不正で、経済動向等の実態をよりよく見せて、求められる政策を実行しない。こんなことは、繰り返させてはなりません。

参議院選挙の年、2022年こそ、国民の苦難に寄り添う、新しい政治を切り開く。全力で走ります。



**衆議院議員
 塩川 鉄也**

総選挙では、大きなご支援をいただきました。結果は悔しい思いで

次は必ず、勝利・前進をかちとりたい。新しい国会で、コロナ禍にお

ける医療費削減政策の転換、ワーキングプアをなくし、消費税減税や富裕層の負担強化など公平な税制を実現したい。総選挙の大きな争点となった気候危機打開やジェンダー平等に取り組みます。

そして、海外で戦争する国づくりを許さず、9条改憲策断念に追い込む国民的な運動を広げていきたい。

今年参院選の年。野党共闘のさらなる発展、比例代表でいわぶち友参議院議員をはじめ5議席を必ず実現しましょう。

そして、埼玉選挙区では、3年前の伊藤岳議員に続き、梅村さえこさんを必ず国会に押し上げましょう。

仕事・暮らしの悩み、どんなことでもご相談下さい

生活相談所のご案内

◇東大宮生活相談所

- 相談日
- 第1・3火曜日
- 13:00~15:00
- 東大宮4丁目27-1
- 千田アパート201

とば・さいたま市議会議員より
新年のごあいさつ
独立国とはいえない政治を変えよう



あけましておめでとございます。ます。

暮れからコロナ感染がじわじわと広がり、不安の中で迎えた新年ですが、明けたとたんにあつという間の爆発的感染拡大。5倍10倍とその感染速度は今までにない速さです。感染爆発の責任が米軍にあることは言うまでもありません。



絵手紙

東大宮 川口

基地があるゆえにコロナ感染拡大まで巻き起す日米地位協定は抜本的に改めるべきです。とても独立国とは言えない今の政治を改めるために、日本共産党は今年も全力で頑張ります



なにしるまともな検査もしないで、日本の検疫も通らずに行き来し、野放し状態。日本国憲法よりも国民の命よりも日米地位協定を上置き、あらためようとしてもしない岸田政権の姿勢は厳しく問われなければなりません。米軍基地を抱える15都道府県でつくる渉外知事会は、沖縄県で米兵による少女暴行事件が起きた1995年以降、日米地位協定改定を求め続け、2018年には全国知事会が「基地問題は一つ都道府県の問題ではない」と全会一位で抜本的に見直しを日米両政府に提言しています。

▼1月16日付のしんぶん赤旗に、岸田首相の「私が目指す「新しい資本主義」のグラウンドデザイン」に対する批判文が掲載されました。早速、コンビニに走り、岸田論文が掲載された『文芸春秋』2月号を買い求めました▼岸田氏は「分断や格差を乗り越える資本主義を実現したい」と言い、「モノから人へ」が、第一のキーワードだ、と書いています。そして「グラウンドデザイン」が展開されるのですが、どうもよくわから

ない。人を大事にし、若者や子育て世代の所得を引き上げるといのですが、実際にこくなる、という絵が見えてきません▼この号に「次の総理、新しい資本主義と5年後の総理」

木敏充氏と続きます。「5年後の総理にふさわしい政治家」の1位は福田達夫氏で、河野氏、林氏と続くのですが、何と7位に、高市早苗氏、小淵優子氏と並んで田村智子氏の名前がありました▼田村氏の名をあげた政治記者は3人。「ふさわしい」というだけの評価なのか、5年後に共産党が政権にかかわる可能性を視野に入れたのかはわかりませんが、何か、素敵な絵が描けるような気がします。(S)

憲法改悪の策動今年こそ息の根止めよう

新春9日、憲法共同センター（戦争する国づくりストンプ！憲法を守り・いかす共同センター）



東大宮駅前で署名に応じる市民



は、「9の日宣伝」を東大宮駅頭で行い、市民へ「憲法生かす政治を」と訴え、「憲法改悪を許さない全国署名」への協力を呼びかけました。けつこう寒い日でしたが、呼びかけに答えて、若い人も署名に答えて、対話が進みました。「安倍首相以来、憲法が危ないですよね」という青年も。残念ながら、先の総選挙では衆議院で憲法改悪勢力が3分の2を超えました。すでに秋の臨時国会でも憲法審査会が動き出しています。

岸田首相は、17日に開会した通常国会での施政方針演説でも、米中の対立を利用しながら「敵基地攻撃能力」の検討を打ち出し、大軍拡予算を持ち出すなど、憲法を逸脱した方向を加速しています。仮に北朝鮮の鉄道を利用した弾道ミサイル発射も「敵基地能力攻撃」の対象とするなら、北朝鮮全土の鉄道を殲滅しなければならなくなります。このような「専守防衛」とは相容れない危険な動きと連動した改憲の動きは、なんとしても止めなければなりません。2022年、この動きを止めるために力を合わせましょう。日本共産党は、このためにも「全国署名」への協力を呼びかけています。